

アルインコ株式会社
2026年3月期第1四半期
決算補足説明資料

2025年 7月 18日

証券コード：5933

<https://www.alinco.co.jp/>



- ✓売上高は、前年同期比6.1%増と堅調に推移し、これに伴い営業利益は同16.9%増となった。
- ✓経常利益は、為替予約によるヘッジ効果の減少や、外貨建て資産の評価の影響を受けて為替差益が前年同期比2.6億円減少したことなどにより、同20.5%減となった。また、親会社株主に帰属する四半期純利益においても、特別利益が前年同期比1.9億円減少したことなどにより、同40.4%減となった。
- ✓第2四半期業績予想に対する進捗は、売上高は49.5%と順調であるが、利益項目はやや遅れが生じており、今後積み上げを図っていく。

(単位：百万円)

	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q		2026年3月期 2Q	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	予想 (売上比)	1Q進捗率
売上高	14,149 (100.0%)	14,529 (100.0%)	15,415 (100.0%)	+885 (+6.1%)	31,170 (100.0%)	49.5%
営業利益	762 (5.4%)	550 (3.8%)	643 (4.2%)	+92 (+16.9%)	1,320 (4.2%)	48.7%
経常利益	1,227 (8.7%)	773 (5.3%)	614 (4.0%)	△158 (△20.5%)	1,500 (4.8%)	40.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	882 (6.2%)	670 (4.6%)	399 (2.6%)	△270 (△40.4%)	930 (3.0%)	42.9%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2026年3月期第1四半期 セグメント情報

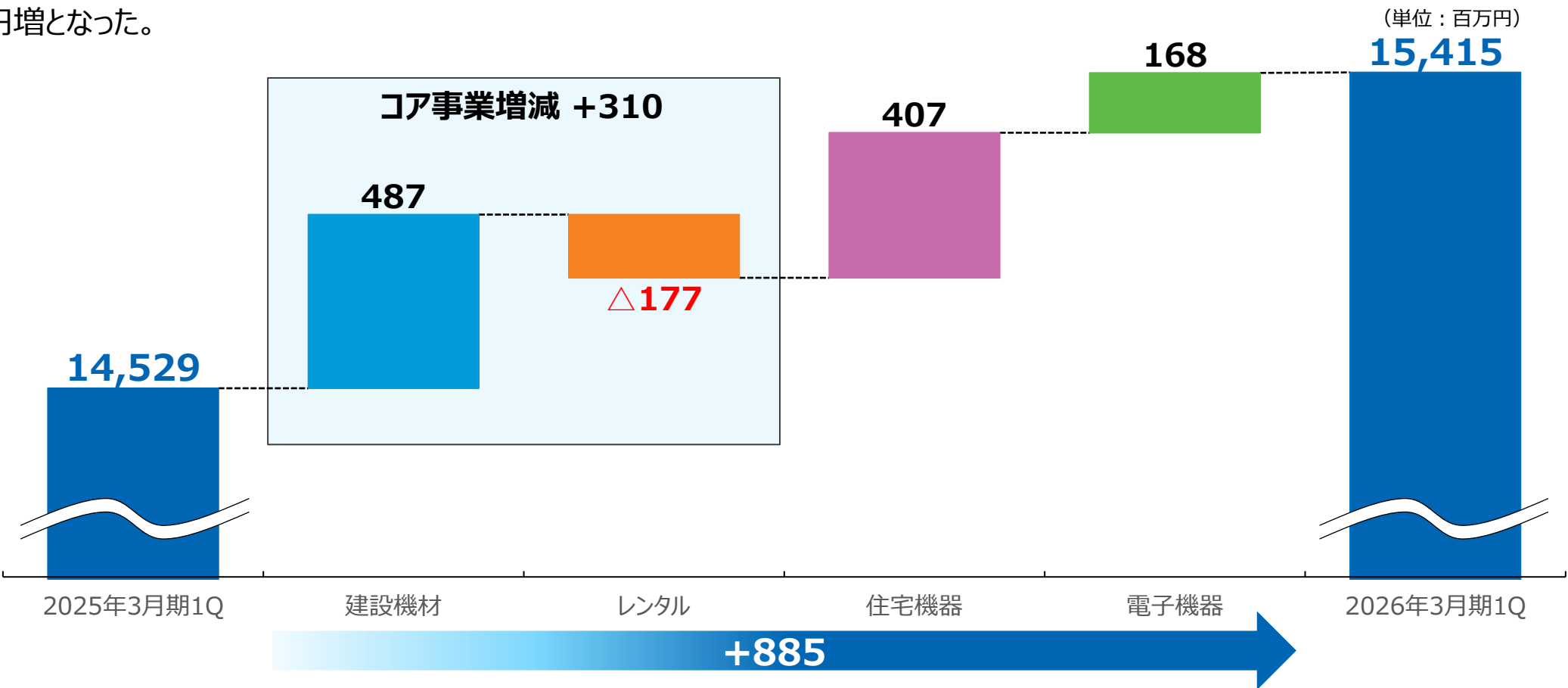
- ✓建設機材セグメントでは、売上高は増加したものの、製品の販売構成の変化などにより利益率が低下し、セグメント利益は減少した。
- ✓レンタルセグメントでは、首都圏を中心に「アルバトロス」をはじめとした主要な製品群の稼働率が堅調に推移したものの、関西圏では大規模な受注現場が終了し受注の端境期となったことから、売上高はやや減少。損益面では、仮設機材レンタル会社の“購買からレンタルへ”の動向に対応すべく積極的なレンタル資産への投資を継続していることから減価償却費が増加し、セグメント利益は減少した。
- ✓住宅機器セグメントでは、米不足による自家用米備蓄ニーズから玄米保冷庫の販売や、子会社(株)シップの高所作業台の販売が堅調に推移。また、フィットネス関連製品も比較的高額品に販売回復の傾向が見られ、売上高が増加した。
- ✓電子機器セグメントでは、消防無線の更新需要から無線機が堅調に販売を伸ばし、プリント配線板製造子会社の東電子工業(株)では試作受注を安定受注に繋げる取り組みを着実に実行した結果、売上高が増加した。

(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q		2026年3月期 2Q	
	実績	実績	実績	前年同期比 増減率	予想	1Q進捗率
建設機材関連	5,061 598	5,568 594	6,056 479	+8.8% △19.4%	11,750 1,075	51.5% 44.6%
レンタル関連	4,305 267	4,420 364	4,242 247	△4.0% △32.0%	9,080 585	46.7% 42.2%
住宅機器関連	3,415 △58	3,365 △118	3,772 12	+12.1% －	7,480 △209	50.4% －
電子機器関連	1,367 36	1,175 △181	1,344 △102	+14.3% －	2,860 △131	47.0% －
調整	－ 383	－ 113	－ △22	－ －	－ 180	－ －
全社合計	14,149 1,227	14,529 773	15,415 614	+6.1% △20.5%	31,170 1,500	49.5% 40.9%

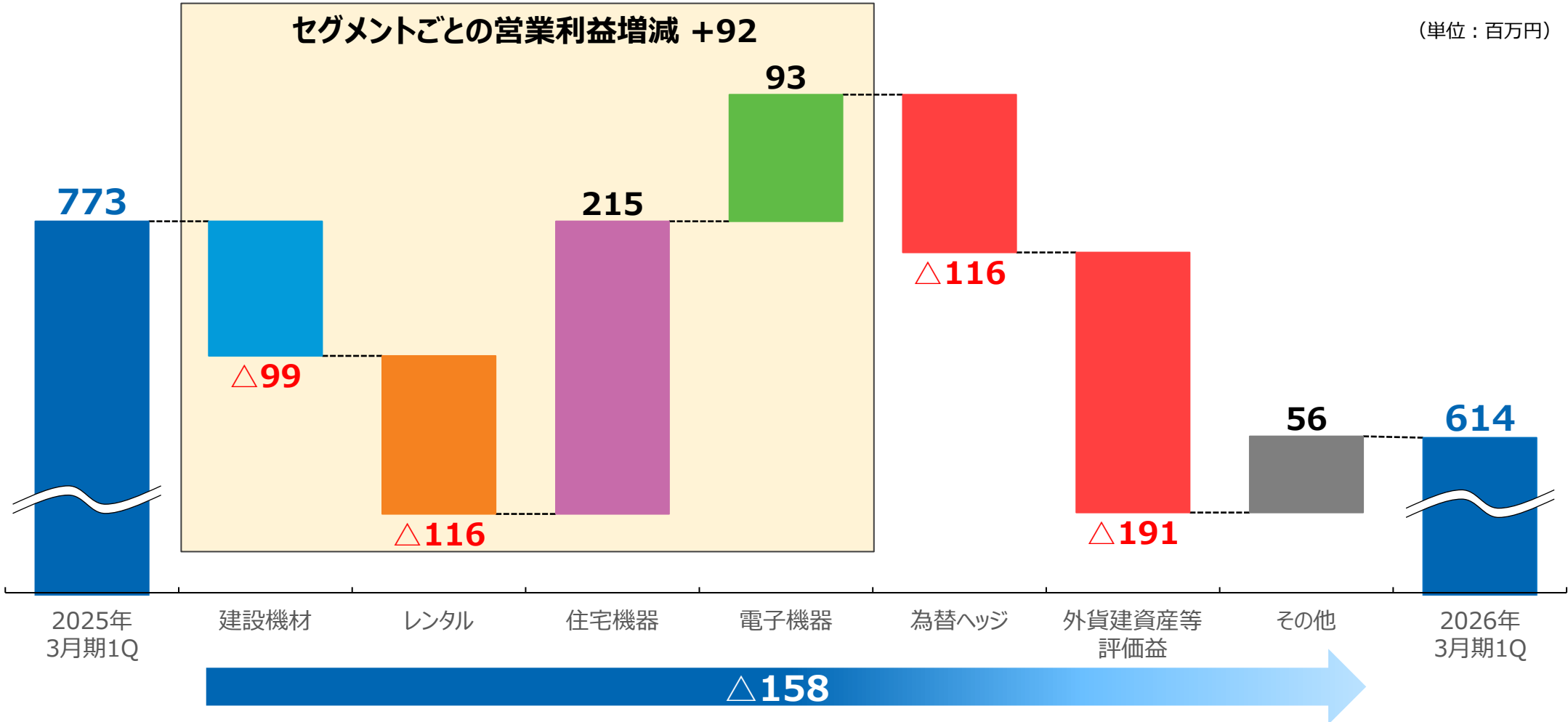
2026年3月期第1四半期 セグメント別売上高増減

- ✓コア事業は、仮設機材レンタル会社による“購買からレンタルへ”の動きが継続している中、消耗度が高い機材の購買ニーズ等に速やかに対応した結果、仮設機材の販売が前年同期比2.9億円増となった。また、物流関連製品の販売が同1.9億円増となり、建設機材セグメントとしては同4.8億円増となった。一方、レンタルは関西圏での大規模な受注現場の終了に伴う受注の端境期となったことから同1.7億円減となった。
- ✓住宅機器関連製品は前年同期比1.4億円増、フィットネス関連製品は同2.6億円増となった。これにより、住宅機器セグメント全体では同4億円増となった。



2026年3月期第1四半期 経常利益増減

- ✓営業利益は、住宅機器や電子機器の売上高増加に加え、円高傾向の継続等による仕入れコストの低減もあり、前年同期比0.9億円増加した。
- ✓経常利益は、為替予約によるヘッジ効果が前年同期比1.1億円減少したことや、外貨建資産等の評価益が同1.9億円減少したこと等により、同1.5億円減少した。



(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 1Q	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比 増減額 (増減率)
流動資産	43,194 (60.9%)	42,967 (60.9%)	△226 (△0.5%)
固定資産	27,689 (39.1%)	27,559 (39.1%)	△129 (△0.5%)
資産合計	70,883 (100.0%)	70,527 (100.0%)	△356 (△0.5%)
流動負債	21,739 (30.7%)	20,988 (29.8%)	△751 (△3.5%)
固定負債	17,149 (24.2%)	17,942 (25.4%)	+793 (+4.6%)
負債合計	38,888 (54.9%)	38,930 (55.2%)	+41 (+0.1%)
純資産	31,994 (45.1%)	31,596 (44.8%)	△397 (△1.2%)
負債・純資産合計	70,883 (100.0%)	70,527 (100.0%)	△356 (△0.5%)
自己資本比率	45.1%	44.8%	△0.3ポイント
D/Eレシオ	0.81倍	0.82倍	－

主な増減要因(百万円)	
流動資産	
現金・預金	△551
たな卸資産	+469
固定資産	
レンタル資産投入	+203
レンタル資産減価償却費	△235
投資有価証券	△84
純資産	
親会社に帰属する四半期純利益	+399
配当金の支払	△438

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

【ご参考】ドル／円相場の推移

✓ドル円相場は前年同期に比べ円高で推移している。



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社 経理本部 IR室

大阪府中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル

Tel : 06-7636-2220 ・ Fax : 06-6208-3701

E-mail : alinco-ir@alinco.co.jp